

年 組 名前：

問1

高校生を対象とした、起業チャレンジ事業の名称を教えてください。

.....

.....

問2

この事業は、何を目的としているか、教えてください。

.....

.....

.....

.....

問3

受講した芦沢さんは、感想をどのように話しましたか。

.....

.....

.....

問4

あなたが、何か起業するとしたら、どのようなことをしたいですか。

.....

.....

.....

高校生「起業」へ始動

地域課題 解決策を議論

県などは4日、甲府・防災新館やまなしプラザで、県内の高校生を対象にした起業チャレンジ事業「Y-NEXT (ワイ・ネクスト) 2022」の探究のその先へ」のキックオフイベントを開いた。

事業は、地域社会の課題を発見し、ビジネスの観点から解決策や新たな価値を創出する「起業家精神」を養うことが目的。県と、起業を支援する甲府市の一般社団法人「Mt.Fujiイノベーションエンジン」が2019年度から実施している。

この日は2校から5組20人が参加。パイオ技術の研究・開発に取り組む「シナプテック」(甲府市大手1丁目)の戸田達昭社長からプレゼンテーションの方法などを学んだ。

この後、参加者はグループごとに、不要になった制服のリサイクルや、空き家の活用方法など地域社会の課題を挙げ、議論した。甲府商高2年の芦沢篤哉さん(16)は「相手の企画の魅力が伝わるようにプレゼンの力を身に付けた」と話した。

キックオフイベントは5日にも開かれ、2日間で43人が参加予定。参加者は今後、助言を受けながらビジネスプランを作成し、9月17、18日に予選、25日に本選コンテストを行う。

〈井村賢紳〉



(2022年6月5日付 山梨日日新聞 25面)